

# DAITO ROTARY

OSAKA JAPAN

## CLUB WEEKLY BULLETIN

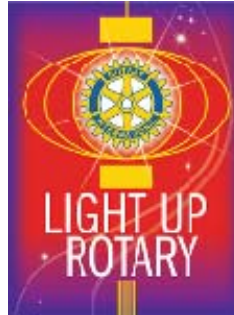
第2660地区  
大東ロータリークラブ

- 事務所  
〒574-0046 大東市赤井1丁目2-10  
ポップタウン住道本館4階  
TEL:072-875-1200  
FAX:072-875-0590  
E-mail:office@daito-rc.org  
http://www.daito-rc.org/
- 例会  
毎週火曜日 12時30分~1時30分  
〒574-0076 大東市曙町4-6  
大東市民会館 4階「大会議室」  
TEL:072-871-0001

### ◆4つのテスト◆

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか？
- ② みんなに公平か？
- ③ 好意と友情を深めるか？
- ④ みんなのためになるかどうか？



創立 1967年 12月 26日

- 会長 高島 登
- 幹事 大東 弘
- 会報委員長 東野 喜次

大東ロータリー会長テーマ

「LIGHT UP DAITO 地域とともに輝きを」

2014年~2015年度  
国際ロータリーのテーマ

ロータリーに輝きを

国際ロータリー会長  
ゲイリー C.K. ホアン

平成 27年 6月 2日

No.2293

H27.5.26 (No.2292の例会記録)

### 今週の卓話 (6月2日)

「 雑 感 」

池田 實 会員

### 次週の予定 (6月9日)

「 私の思う事 」

山田 伸 会員

### 先週の例会報告

#### ◆ 出席報告 (5月26日分)

会員数 42名 出席数 31名 欠席者 3名  
特定免除 8名 その他免除 0名  
出席率 91.18%

前々回5月12日分

ホームクラブの出席者 36名 94.44%  
メイクアップの結果 38名  
特定免除 4名 その他免除 0名  
欠席者 0名 修正出席率 100.00%

### 今月のテーマ

親睦活動月間

### ロータリーソング

「手に手つないで」「四つのテスト」

### ニコニコ箱

裏面に記載



子供達が楽しみにしているイルカショーが見れなくなるかもしれません。日本でのイルカの捕獲方法として、古くから行われているイルカ追い込み漁が、動物愛護団体の批判を受け、今後の水族館はイルカの追い込み漁からイルカを入手できなくなりました。これから繁殖や飼育をされる水族館の方にとっては、大変な事だと思います。



イルカの追い込み漁については、日本だけがバッシングを受けている様に思いますが、現在でも日本以外の国で、イルカの追い込み漁を食用として行っている所があります。

たしかにイルカはかわいい動物ですので、漁をするのは可哀想だと思いますが、国や地域によって食文化が違います。日本ではペットとして飼われている動物やぬいぐるみで人気の動物など、日本では食用として考えられない動物でも、食文化が違う国や地域では普通に食用になっている事があります。世界の国々では考え方が違いますが、お互いの文化を理解しあって、争いの無い豊かな社会になって行く事を願います。



## 『 醍醐桜 』

●日本の桜百選-23



岡山県真庭市

のどかな山里の原風景の中にあって、ただ1本だけ空に向かってそびえ立つ、この醍醐桜は県下一の巨木といわれ、日本名木百選にも選ばれた見事な桜です。目通り 7.1m、根本周囲 9.2m、枝張り 東西南北 20m、樹高 18m、種類はアズマヒガン（ヒガンザクラの一種）で、昭和 47 年 12 月岡山県の天然記念物に指定されています。





委員会報告

◎ニコニコ箱

- ・小川さんごちそう様でした 間 紀夫 委員長
- ・小川次年度 ごちそう様でした 感謝 高島 登 君
- ・次年度、理事 役員、懇親会 出席ありがとうございました 小川 芳男 君
- ・大東ロータリークラブ第4回ゴルフコンペ多数の参加ありがとうございました 田川 和見 君  
なお第5回も多数参加お待ちしております
- ・クラブゴルフコンペ 不参加 お詫び 木村 克己 君
- ・杉原親睦活動副委員長 ご配慮有難うございました！ 感謝 東村 正剛 君
- ・皆様のニコニコに感謝 間 紀夫 君
- ・杉原さんありがとうございました 森岡 信晶 君
- ・ゴルフコンペ 優勝できました ありがとうございます 山田 伸 君  
田川キャプテン ご苦勞様でした 感謝
- ・田川委員長 ゴルフコンペありがとうございました 感謝 中野 隆二 君
- ・田川委員長 ゴルフコンペおつかれ様でした 感謝 吉村 茂 君
- ・田川さん ゴルフコンペお疲れ様でした 柿木 篤 君  
ありがとうございました 感謝



新会員推薦者の認証

会員増強に積極的に協力したことへの感謝の意として、特別な認証ピンとブルーの裏当てが高島会長へまた、東村会員へはブロンズの裏当てが贈られました。





「 特発性正常圧水頭症 (iNPH) について 」



堀部 邦夫 会員

超高齢者社会を迎え認知症の有病率は14～15%ととなり、原因疾患、診療事態ではアルツハイマー病、レビー小体型認知症、さらに脳血管性認知症、その他のなかに特発性正常圧水頭症があり、またこの疾患の症状でもある歩行障害という切り口（特に整形外科分野）のみからみると見逃されやすい疾患である。このiNPHの症状は認知症とともに歩行障害、尿失禁であり手術によって改善されることが多く **treatable dementia** と呼ばれていた。また改善しうる認知症にはその他慢性硬膜下血腫、脳腫瘍等の脳外科疾患が存在する。

なぜ最近になって高齢者の水頭症が注目されているのか？

それは高齢者の増加、認知症や歩行障害や尿失禁が改善され、介護度の軽減がでてくるからである。

このiNPHの症状は慢性的に出現する歩行障害、認知症、尿失禁であり高齢者によくある症状であるため検査もしないで放置されていたことも十分考えられることである。

このような症状が60歳以上の方であればCT、MRI検査を受ければある程度の予想がつき（但し脳神経外科医かこの疾患に精通している神経内科では）確認の意味もあり、腰椎穿刺にて髄液30ml採取し症状が改善すれば手術（シャント術）はほぼ有効と判断できる。なお我が国での手術平均年齢は75歳である。

